

**屋外対応ネットワークカメラのラインアップを拡充
独自開発「親水コーティング II」を採用した新製品 9 機種を発売**

キヤノンは、独自開発の「親水コーティング II」を採用した屋外対応ネットワークカメラの新製品 9 機種を 2019 年 9 月 5 日より順次発売します。



VB-R13VE (H2)



VB-H761LVE (H2)

新製品 9 機種は、“VB-R13VE (H2)”など 360°旋回型モデル 4 機種、“VB-H761LVE (H2)”などボックス型モデル 5 機種で、いずれも独自開発の「親水コーティング II」を採用した屋外対応のネットワークカメラです。一部のボックス型モデル*のみで採用していた親水コーティングを 360°旋回型モデルで初めて標準採用し、屋外対応ネットワークカメラのラインアップを拡充することで、公共施設／道路・交通機関／工場などの広域監視や災害監視、観光名所や商業施設における迷惑行為の抑制など、多様なニーズに応じていきます。

■ 雨天時や降雨後の高い視認性や防汚性を実現

水が薄い膜状に広がる「親水性」を持つキヤノン独自のコーティングにより、カメラ前面のレンズ保護窓やドームカバーにかかった雨水が水膜となって流れ落ちるため、雨天時や降雨後の水滴による視認性の低下を抑制できます。また本コーティングにより、雨水が砂やほこりなどの汚れを浮かして、流し落とすことで、汚れの蓄積による視認性の低下を軽減します。

■ 設置やメンテナンス時の運用性を向上

独自開発の「親水コーティング II」は、従来の「親水コーティング」に比べ、コーティング膜の強度を高めており、取り扱い時の不注意により親水性が低下する影響を軽減しています。レンズ保護窓やドームカバーに指紋が付着した場合でも、柔らかい布でコーティング膜に傷をつけずにふき取ることができるなど、設置やメンテナンス時の運用性を高めています。

製品名	希望小売価格 (税別)	発売日
VB-R13VE (H2)／VB-R12VE (H2)／ VB-R11VE (H2)／VB-R10VE (H2)	59 万円～	2019 年 10 月下旬
VB-H761LVE (H2)／VB-H760VE (H2)／ VB-H751LE (H2)／VB-M741LE (H2)／ VB-M740E (H2)	18 万円～	2019 年 9 月 5 日 より順次

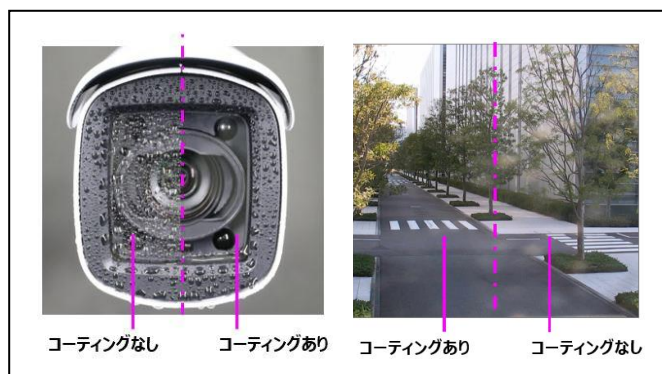
※ 赤外照明・耐衝撃モデル「VB-H761LVE-H」、「VB-H751LE-H」(2017年6月受注開始)、赤外照明モデル「VB-M741LE-H」(2017年7月発売)のボックス型3機種で採用。

- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90074
- ネットワークカメラホームページ : canon.jp/webview

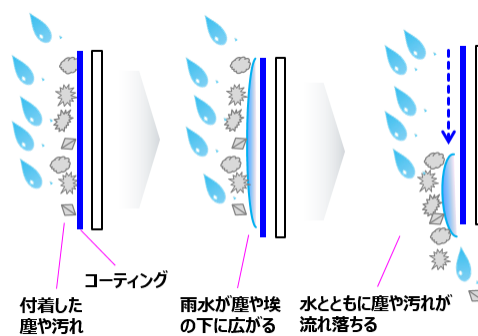
<主な特長>

1. 雨天時や降雨後の高い視認性や防汚性を実現

- ・水が薄い膜状に広がる「親水性」を持つキヤノン独自のコーティング技術を採用。カメラ前面のレンズ保護窓やドームカバーにかかった雨水が水膜となって流れ落ちるため、雨天時や降雨後など水滴により視認性が低下する環境下で、映像への影響を抑制。
- ・親水コーティングに付着した水が砂やほこりなどの汚れの下で広がり、浮いた汚れを流し落とすことで、汚れの蓄積による視認性の低下を軽減。レンズ保護窓やドームカバーの清掃頻度を抑制。



親水コーティングの有無による効果（イメージ）



防汚性向上の仕組み

2. 設置やメンテナンス時の運用性を向上

- ・新開発の「親水コーティング II」は、従来の「親水コーティング」に比べ、コーティング膜の強度を向上。取り扱い時の不注意により親水性が低下する影響を低減。
- ・レンズ保護窓やドームカバーに指紋が付着した場合でも、柔らかい布でコーティング膜に傷をつけずにふき取ることができ、設置やメンテナンス時の運用性が向上。

3. 拡充した屋外対応ネットワークカメラのラインアップ

- ・“VB-R13VE (H2)/VB-R12VE (H2)/VB-R11VE (H2)/VB-R10VE (H2)^{※1}”は、高速、高精度、高倍率を実現した 360°旋回型カメラ。30 倍ズームレンズを搭載し 1 台で効率的に広範囲の撮影が可能なおよび、風雨時やマイナス 50℃～55℃の厳しい環境下でも作動可能。市街全体の災害監視や河川監視などに好適。
- ・“VB-H761LVE (H2)/VB-H760VE (H2)^{※2}”は、フル HD 対応のボックス型モデル。耐衝撃性能や防じん、防滴性能により、高速道路などの交通監視、空港・発電施設などの外周監視などに好適。
- ・“VB-H751LE (H2)”は、暗部撮影を追求した赤外照明を搭載し、フル HD に対応した広角ボックス型モデル。光学 2.4 倍ズームとデジタルズーム 4 倍で、人物の姿や手元までしっかり拡大するとともに水平画角 124.3°の広角レンズにより、広い空間を俯瞰可能。また赤外照明を搭載し、光源がない 0 ルクス^{※3}の暗闇でも最長 30m 先まで白黒撮影が可能。赤外照明やボックス型の形状を生かし、夜間の窃盗被害監視、観光名所や公共施設における迷惑行為の抑制などに好適。
- ・“VB-M741LE (H2)/VB-M740E (H2)^{※3}”は、屋外対応の広角ボックス型モデル。夜間の窃盗被害監視、観光名所や公共施設における迷惑行為の抑制などに好適。

※1 “VB-R13VE (H2)/VB-R12VE (H2)”はフル HD (2メガピクセル) 撮影が可能、“VB-R11VE (H2)/VB-R10VE (H2)”は 1.3メガピクセル撮影が可能。“VB-R13VE (H2)/VB-R11VE (H2)”は、音声入出力端子および、外部デバイス入出力端子などを搭載、“VB-R12VE (H2)/VB-R10VE (H2)”は非搭載。

※2 “VB-H761LVE (H2)”は、赤外照明や光学 20 倍ズームレンズの搭載により、光源がない 0 ルクス^{※3}の暗闇でも最長 60m 先まで白黒撮影が可能。“VB-H760VE (H2)”は、赤外照明非搭載。

※3 “VB-M741LE (H2)”は、赤外照明、音声入出力端子、外部デバイス入出力端子などを搭載、“VB-M740E (H2)”は非搭載。

<製品別の価格／発売日一覧>

製品	希望小売価格（税別）	発売日
VB-R13VE (H2)	66 万円	2019 年 10 月下旬
VB-R12VE (H2)	63 万円	
VB-R11VE (H2)	62 万円	
VB-R10VE (H2)	59 万円	
VB-H761LVE (H2)	29 万 8,000 円	2019 年 9 月下旬
VB-H760VE (H2)	24 万 8,000 円	2019 年 10 月下旬
VB-H751LE (H2)	27 万円	2019 年 9 月 5 日
VB-M741LE (H2)	23 万円	
VB-M740E (H2)	18 万円	

<ネットワークカメラの市場動向>

2018 年のネットワークカメラの市場は、全世界的な防犯意識の高まりやアナログ CCTV カメラからの買い替え需要の継続などにより、世界市場で約 1 兆 204 億円^{※1}（前年比約 20%増^{※2}）、国内市場で約 502 億円（前年比約 19%増）と市場規模が拡大したとみられます。2019 年も引き続き拡大基調を維持し、世界市場で約 1 兆 1,884 億円^{※1}（前年比約 19%増^{※2}）、国内市場で約 604 億円（前年比約 20%増）と予想しています。（出典：テクノ・システム・リサーチ社「2018 年版ネットワークカメラ市場のマーケティング分析」、「2017 年版ネットワークカメラ国内市場のマーケティング分析」）

※1 金額は、US ドル換算で 1 ドルあたり 2018 年：110.4 円、2019 年 108.3 円で計算。製品単価 100 ドル未満の製品を含む。

※2 US ドル換算の伸び率。

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。